



【学校教育目標】

共に高まる たくましい子の育成

か かんがえる子

な なかよくする子

え えがおでたくましい子



「子ども主体の学び」を 授業でも生活でも行事でも

育成する力(資質・能力)

「主体的に学ぶ力」 「思考力・判断力・表現力」 「自己形成力」

確かな学力

「主体的に学ぶ力」

「思考力・判断力・表現力」

～資料を活用し、思考力を高める

授業を通して～

- 教科・単元のねらいや内容、系統性を明確にし、児童の現状とつなぐ単元づくり
- 児童の実態に合わせた多様な表現方法の活用（文章や図などで表現）
- 明確な目的をもった体験活動を設定
- 振り返りを書き、学びの自覚化を図る



豊かな心

「自己形成力」

・目標を達成するために粘り強く取り組む

・思いやりの心の育成

・「金江しげさ」

*自分から挨拶・気持ちのよい返事

*だまつて掃除

*3分前行動

・本に親しむ

*読書の感想を書き、校内や校区で交流



*おすすめの本を紹介しあう

健やかな体

自分の体は自分で守る

- 体力テスト
- 全校遊び
- 学級遊び
- 個の目標を立てての体力づくり
 - *持久走 *なわとび
- 早寝・早起き・朝ごはん
- メディアコントロール
- 食育の推進
 - *バランスのとれた食事



体験活動の充実

地域と文化に誇りをもつ児童の育成

・栽培活動

・町探検（産業・文化）

・茶の湯・能・琴

・ミュージカル

・昔の遊び体験

・児童のアイデアを生かして創る児童会行事



・地域の方々から学ぶ場